

札幌第4地方合同庁舎完成



北海道開発局が建設を進めてきた札幌第4地方合同庁舎が完成し、3月23日から供用を開始した。札幌市内での合同庁舎建設は32年ぶり。札幌市内に点在する2官署、3施設を集約し防災拠点施設としての役割を果たすとともに、周辺の居住環境や歴史、文化、景観と調和し、まちづくりに貢献する施設として整備された。設計は梓設計、工事監理は北海道建築総合研究所、建築工事は五洋建設が担当した。地域に開かれ、未永く愛される施設を目指す。

周辺環境と調和しまちづくりに貢献



天井・壁面のルーバーに産産カラツ集成材を使用したエントランスホール

設計コンセプト

将来のまちづくりを誘導する整備計画

札幌第4地方合同庁舎は、市内に点在する北海道農政事務所(本所)と白石庁舎及び北海道運輸局の2官署、3施設を集約し、防災拠点施設として整備する事業で、ユニバーサルデザインの視点で誰もが利用しやすい庁舎づくり、環境性能が高く、エネルギー需要の高い寒冷地での先進的な取り組みを実現する庁舎として整備されました。

敷地周辺の居住環境への配慮、歴史や文化施設、緑豊かな周辺環境との調和、地域と連携し近隣居住者に親しまれ、気軽に立ち寄れる施設を配置構成とともに工夫しました。また、老朽化した同敷地内の既存建物の整備を見据え、将来的な敷地全体の利活用を踏まえた施設整備としました。

良好な周辺環境の景観、潤いある緑豊かな環境を踏まえ、安定感や秩序、繊細さを感じられる外観デザインとしました。高層部は白とグレーのハンギングタイルにより周辺環境と馴染む色調とし、来館者や周辺住民の視線レベルとなる低層部は、落ち付きと安心感のあるアースカラー系のタイルを外構計画と合わせ構成しています。

エントランス部は建物全体のアクセントデザインとしつつ、将来増築に配慮し、接続可能な構造構成をデザインと合わせ工夫しました。

開口部は構造体を活かしたポツ窓形状とし、デザイン性を確保しつつ開口の最適化を図ることで熱負荷を低減する計画としています。また、外断熱工法の採用とLow-Eガラスの組み合わせに加え、全熱交換器の採用を始めとした効率的なエネルギー利用と省エネルギー化によりZEB Orientedの数値目標を達成しています。

普段は立ち寄ることが少ない合同庁舎を一般に広く知って貰い、共用部の積極的な利用を促す取り組みとして、学識者、専門家、大学生、高校生も参加した「地域連携懇話会」を設計初期より工事に至るまで実施し施設整備に反映しています。「地域連携懇話会」から生まれた「ミニ美術館」や現場サイン検討、高校生の作品掲示等、多様な取り組みをユニバーサルデザインと合わせ実施しました。その他、エントランスや食堂、駐輪場等をはじめ、積極的な木材利用に取り組んでいます。

梓設計 田野上 哲広



南側ホーチ

統合施工BIMモデル作成し 作業効率化、手戻り削減

施工のポイント

札幌第4地方合同庁舎新築23建築工事は、2023年10月末に契約し、24年2月より既存車庫の解体工事に着手しました。同6月初旬より庁舎の基礎工事に着手。その後、夏季期間に鉄骨建て方、25年3月より上部躯体工事を進め、同8月に躯体上棟、26年2月末に庁舎部分の完成引渡しを行い、同3月中旬に外構部分の引き渡しとなりました。

既存車庫の解体工事は、別途施工の新築車庫業者や札幌開発建設部の既存車庫利用との調整をしながら進める必要があり、また予定外のアスベスト除去工事も発生したため、非常に困難なものになりましたが、解体順序を変更して、一部新築と解体を並行させることで予定通り新築工事を着工することができました。

新庁舎はSRC造9階建ての建物で、外壁には外断熱工法を採用しており、施工時の外壁・外部足場の施工計画にBIMを活用しました。外壁の各工種はBIMと足場BIMモデルを統合し、工程進捗を考慮した統合BIMモデルを作成。事前の作業環境の確認や干渉チェックを行うことで作業効率化、手戻り削減につなげました。また、足場の数量拾いにもBIMモデルを活用し、職員の業務時間短縮にも取り組みました。

現場の省力化の取り組み



札幌軟石で覆われた1階エレベーターホール



1階共用部の案内サインには地元高校生のアート作品を使用した

工事概要

- 工事名称 札幌第4地方合同庁舎新築23建築工事、同電気設備工事、同機械設備工事、同エレベーター・機械設備
- 所在地 札幌市中央区北2条西19丁目7番
- 発注者 国土交通省北海道開発局
- 設計 株式会社梓設計
- 工事監理 株式会社北海道建築総合研究所
- 施工 五洋建設株式会社(建築)、電気・機械・EVは別途受注者
- 工期 2024年1月~26年3月18日
- 構造・規模 SRC一部S造9階建て
- 延べ面積 1,733,458.62㎡
- 建築面積 1,845.95㎡
- 入居官署 北海道農政事務所、北海道運輸局

五洋建設株式会社札幌支店

この工事は、大変多くの方々を支えられて進められました。工事に携わらせていただき感謝申し上げます。工事着手から約2年間にわたり北海道開発局、入居官署の皆さまをはじめとする関係者のご指導、ご支援、ご協力をいただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。

工事所長 藤本 豪

130 Years & Beyond PENTA-OCEAN 五洋建設株式会社 代表取締役社長 清水 琢三 執行役員札幌支店長 佐々木 広輝

協力会社一覧: 株式会社キタムラ, 株式会社木下鋼業, 株式会社栗林商会, 株式会社コーサイ, コクヨ北海道販売株式会社, 株式会社小林創業, 小松ウオール工業株式会社, 札幌齊藤木材株式会社, 株式会社中央ガス圧接, 株式会社津嶋組, 苫小牧東京重機株式会社, ナラサキ産業株式会社北海道支社, 株式会社二階堂, 株式会社ニチダン, 株式会社日成興産, 株式会社NIPPO北海道支店, 不二産業株式会社札幌営業所, フルテック株式会社, 株式会社北雄産業, 北開技研工業株式会社, 株式会社湊電商工業, 株式会社横森製作所, 株式会社LOT